

市議会だより

かしば

No.128

人・街・暮らし

■発行：香芝市議会 ■編集：香芝市議会だより編集委員会
■連絡先：〒639-0292 香芝市本町1397 香芝市議会事務局 ☎76-2001(代)



小学生対象の水泳教室（香芝総合プール）

おもな内容

- ・平成22年6月定例会の概要と結果 2 P
- ・香芝市議会改革特別委員会 3 P
- ・一般質問 3 P～9 P
- ・平成22年9月定例会会期予定 10 P
- ・議会日誌 10 P

平成22年6月定例会

平成22年第3回定例香芝市議会は、6月10日から23日までの14日間の会期で行われました。

本定例会では、理事者から提出された「香芝市税条例の一部を改正することについて」や「JR和歌山線志都美駅平成22年度自由通路工事協定の締結について」など14議案、議員提案による「奈良県立医科大学移転計画見直し及び詳細な経緯の公表等を求める意見書」など2議案について、慎重に審議いたしました。



平成22年6月第3回（定例会）香芝市議会結果

議案番号	議案	議案結果
報 第 3 号	平成21年度香芝市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告受理
報 第 4 号	平成21年度香芝市介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告受理
報 第 5 号	平成21年度香芝市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告受理
報 第 6 号	平成21年度香芝市土地取得特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告受理
報 第 7 号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	報告受理
報 第 8 号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	報告受理
報 第 9 号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	報告受理
承 第 4 号	平成22年度香芝市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の専決処分の報告及び承認について	原案承認
議 第 28 号	職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正することについて	原案可決
議 第 29 号	香芝市職員の育児休業等に関する条例及び香芝市の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正することについて	原案可決
議 第 30 号	香芝市の特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及び香芝市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正することについて	原案可決
議 第 31 号	香芝市税条例の一部を改正することについて	原案可決
議 第 32 号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正することについて	原案可決
議 第 33 号	JR和歌山線志都美駅平成22年度自由通路工事協定の締結について	原案可決

議案番号	議案	提出者	議案結果
意見書第2号	奈良県立医科大学移転計画見直し及び詳細な経緯の公表等を求める意見書	議会運営委員会	原案可決
選 第 12 号	奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について	関 義秀	選 挙

委員会付託議案

総務財政委員会	議第28号、	議第29号、	議第30号、	議第31号
民生文教委員会	承第4号			
建設水道委員会	議第32号、	議第33号		

第3回香芝市議会改革特別委員会審議概要



- 開催日** 平成22年 7月14日(水)
- 案件**
1. 平成19、20年度の政務調査費監査結果に係る自主返納の経緯と結果の報告について
 2. 政務調査費の交付に関する条例及び規程の一部改正等について
 3. 議員定数について

まず、**案件1**では、本委員会の請求から、平成22年4月30日付「政務調査に係る監査結果報告」を受け、意見、要望として付された事項、政務調査費の手引き、さらに近年の裁判判例等に基づき、11人の議員から左の表のとおり、自主返納の額と内容の詳細報告を受けた。特に、自主返納の主なもの、政務の調査研究経費に直接関係の無い、事務所賃貸料、コピー機リース料、人件費、広報費等であった。

次に、**案件2**では、監査結果報告を踏まえ、政務調査費の用途の適正化及び透明性を図るため、政務調査費の交付に関する条例及び規定の一部改正等を行うための議案作成及び審議を重ね、8月委員会にて結論を得る。

最後に、**案件3**では、議員の公務は議会活動が全てである。その議会活動にて一般質問すら行わない者、予算、決算、各委員会等にて議案審議の行わない者の必要性と責任、審査機関としての能力等について、公の委員会にて議論を行い、問題点の明確化と定数の関係等を継続して審議する。

委員長 川田 裕 **副委員長** 森井常夫
委員 北川重信、河杉博之、細井宏純、池田英子

政務調査費自主返納額			
	平成19年度	平成20年度	合計
研究研修費	65,510	6,710	72,220
調査旅費	150,093	162,207	312,300
資料作成費	289,449	244,964	534,413
資料購入費	158,519	153,900	312,419
広報費	262,140	271,060	533,200
広聴費	17,950	39,428	57,378
人件費	110,000	120,000	230,000
事務所費	1,390,066	1,548,850	2,938,916
その他経費	41,577	21,693	63,270
返納金	2,485,304	2,568,812	5,054,116
利息	248,422	128,460	376,882
合計	2,733,726	2,697,272	5,430,998



※詳細は、**香芝市議会会議録検索システム web**上で掲載予定です。

一般質問 質問者・項目

(掲載は質問順)

6月定例会の一般質問は6月21日、22日に行われ、8人の議員が市政全般にわたり市の見解をただしました。その内容は次のとおりです。(要約)

- 池原道生
 - ・社会分業について
 - ・脱ゆとり教育について
- 池田英子
 - ・学童保育所・放課後子ども教室について
 - ・子宮頸がんワクチン接種について
 - ・子ども虐待の問題について
- 中山武彦
 - ・市の地球温暖化防止政策について
 - ・医療と介護について
- 黒松康至
 - ・美しいまちづくりへの取り組みについて
 - ・地上デジタル放送への完全移行にむけて本市の状況について
 - ・公共下水道の事業認可外地域(畑・穴虫・関屋)における方針について
- 芦高省五
 - ・国保料の引き下げについて
 - ・二上山山ろく登山道の整備や環境について
 - ・香芝警察署前東側の交差点に信号機を設置することについて
- 小西高吉
 - ・公共バスについて
 - ・青少年健全育成について
 - ・安全・安心のまちづくりについて
 - ・安心して産み育てられる環境づくりに関して
- 中村良路
 - ・安心できる公共交通のバリアフリーについて
 - ・ゴミの減量化について
 - ・ゴミの持ち去りについて
- 川田裕
 - ・高齢者施策の保健事業の取組状況
 - ・国民健康保険広域化の奈良県の取組みについて
 - ・放課後子ども教室の推進と、学童保育の設備改善について
 - ・不公正な勤務評価と不評だが、どうして40年前の勤務評価表を未だに使用しているのか

池原 道生 議員

▼社会分業について

〔問〕社会の成熟とともに自然発生するニーズや理念、思想や価値観の変化に対応できず、大きく支障になっているのが、中央集権体制下の画一主義、均等制度や中央省庁での管理統制等であると考えますが、香芝市における今後の分業制について

〔企画部長〕行政は、みずからの力で持続可能な発展を遂げる必要があるが、多種多様化する市民ニーズに対して迅速かつきめ細かな対応ができない部分がある。そうした部分の担い手としては、自治会の皆さんや市民グループの皆さん等が行政の協働相手として今後ますます重要になってくる。このように行政と市民の適切な役割分担を進めていくことが分業ではないかと考えている。

〔要望〕さまざまな市民の方々の提案を受けとめ、芝香るまち香芝を前面に打ち出した政策を分業で行えるようお願いする。

▼脱ゆとり教育について

〔問〕香芝市におけるゆとり教育の結果について

〔教育長〕幾つかの学力調査によると以前よりも成績がやや落ちたという指摘がされており、その分析結果からは学力分布における二極分化という

問題がある。この現象は、家庭の経済格差、文化資本格差が子供の学力格差にあらわれているということであり、これをいかに解決するかが今日の教育関係者の緊急な課題である。

〔問〕ゆとり

教育での学力低下が問題視され、次年度より脱ゆとり教育が開始される運びとなつたが、次年度から始まる脱ゆとり教育への本市の対応について



▲小学校の授業風景

〔教育長〕新しい学習指導要領の実施に当たっては、まず、教科書を活用しながらも、子供たちが主体的によく考え、理解し、繰り返し練習することを通して思考力、判断力を習得していくようにする。2つ目は、教師中心の教え込み授業等を排除し、子供中心の授業を進める。3つ目は、市内の幼・小・中の教育連携を促進し、学習活動が学年や学校段階でスムーズに展開できるよう工夫する。4つ目は、各教員たちが授業方法の原点を再確認することを求め、力量を高めるため自主的な研修を奨励し、研修活動を率先、主導し教員の力を高めたいと考えている。

〔要望〕ご老人との触れ合いも新しい教育に取り入れていただきたい。

〔問〕授業時間がふえることなどからの脱ゆとり教育から発生されると考えられる子どものストレス発散対策について

〔教育長〕確かに授業時間数や授業内容がふえるが、必ずしも子供たちのストレスにストレートにつながるものではないと考えている。

今後も、教員の研修、また授業研究を推し進め、子供たちの学習権保障という観点に立った授業実践、そして子供たちにストレスを感じさせない授業づくり、教育環境づくりを行いたいと考えている。

〔問〕ストレス発散対策にも校庭芝生化は有意義ではないか。

〔教育長〕子どもたちのストレスがふえるような場合があれば、よりよい対策を模索したいと現段階では考えている。従って、校庭の芝生化については、他の実施校の成果をも見て、さらに学校の本来の任務と使命、教育の本来のあり方等々を考えて対応を見定めたいと考えている。

〔要望〕グラウンド芝生化を芝香るまち香芝市の名前を前面に押し出せる目玉として、小学校のみならず保育所、幼稚園にも展開し、市民協働ということで分業化して取り組んでいただきたい。

池田 英子 議員

▼児童保育所・放課後子ども教室について

〔問〕児童保育所の施設改善の進捗状況について

〔教育部長〕老朽化が進んでいる施設改善の必要性は承知しているが、一斉に大規模な工事を行うことは容易ではなく、財政状況を考慮に入れ施設整備を進めたい。

〔問〕児童保育所の今後の施設計画について

〔教育部長〕一つの方法として、学校の空き教室等の利用活用についても検討を加えていきたい。

〔要望〕老朽化した施設、特にトイレは早急に改善していただきたい。

〔問〕児童保育時間延長後の状況について

〔教育部長〕本年度より30分間の延長保育を5カ所の児童保育所で実施しており、延長保育の一日の平均利用児童数は現在2名程度であるが一定の成果があると考えている。

〔問〕指導員の労働条件の改善について

〔教育部長〕本年度より常勤の指導員は時給八百七十円から九百八十円に、非常勤の指導員は時給七百六十円から八百円に賃金改定をした。

〔問〕児童保育所と放課後子ども教

室の連携について

〔教育部長〕現

在は、限定的ではあるが相互に利用できる環境は従前よりもよくなっている。今後は、人材やプログラムの共有化などを行い、さらに両者の連携を図りたい。



▲放課後子ども教室

▼子宮頸がんワクチン接種について

〔問〕海外では既に一〇〇カ国以上でワクチンが使われているが、ワクチン接種について市の考えについて

〔保健福祉部長〕子宮がんの種類は数多くあり、ワクチン接種したからといって安心するのではなく、定期的ながん検診を受けることが必要だと考えている。

〔問〕子宮頸がんの周知について

〔保健福祉部長〕子宮がん検診の推進促進は、広報やインターネット等で周知啓発に努めていきたい。

〔要望〕子宮頸がんの誤った情報もあるとの事なので、市主催の学習会を開催願いたい。

〔問〕日本産婦人科学会や日本小児科学会も11歳から14歳の女子に公費負担で接種するよう求めており、お金のあるなしで接種の有無が決まるのではなく、助かる命を守らなければ

ならないが公費助成することについて

〔保健福祉部長〕現在、県内では天川村のみが公費負担で接種を開始している。本市としては、今後の国や県の子宮頸がんワクチン接種に対する動向を見守りたいと考えている。

〔問〕国や県の動向を見守るという受け身ではなく、香芝市独自の政策をとるべきではないか。

〔市長〕国がまず公費助成の措置を明らかにすべきと市長会から国の関係機関に要望を行ったところであり、財政負担のこともあり国の助成の程度を見極めてから判断したい。

▼子供虐待の問題について

〔問〕本市での子供虐待の現状把握について

〔保健福祉部長〕要保護児童対策地域協議会や地域におけるより多くの機関や関係者と連携しながら、児童虐待の早期発見、早期対応、発生予防等に取り組んでいる。

〔問〕子供を守る地域ネットワークの機能、体制の充実が必要であるが、市の今後の対策について

〔保健福祉部長〕発生予防としては、児童家庭全戸訪問事業や育児支援訪問事業等をさらに充実させるとともに、児童虐待の未然防止や早期発見の観点から、地域での見守りの重要性について周知徹底していきたい。

中山 武彦 議員

▼市の地球温暖化防止政策について

〔問〕香芝市地球温暖化対策実行計画における市の取り組み状況と結果公表、及び目標の達成見込みについて

〔市民生活部長〕実行計画に従い、市の管理施設から排出される温室効果ガスを抑制するため、具体的な数値目標を定め、電気、水道、燃料、紙類等の使用量の削減に対し職員一丸となつて取り組んでいる。

現在、集計作業を行っており、終わり次第広報紙や市のホームページで公表する予定である。

また、温室効果ガス削減目標対平成十九年度比-3%は、率先行動の推進と暖冬等の影響により達成できると考えている。

〔問〕庁舎に最近導入した省エネ機器の効果について

〔総務部長〕昨年度に、国の臨時交付金等を活用して、庁舎1階の照明器具百七十六本を省エネタイプのLEDに取り替え、60キロワットのパネル三百三十六枚を配した太陽光発電システムを設置し三月から稼働させている。これらの導入により、庁舎の四月と五月分の使用電力量で約2万キロワットの節電、料金では約28万円節約効果となった。

〔問〕費用対効果を考え、先を見越した設備改修計画の策定について

〔総務部長〕LED照明機器の入れ替えは、投資に係る費用対効果や省エネ効果が大きいため、補助があればありたいが、可能な限り一般財源をもつても進めていきたい。

▼医療と介護について

〔問〕高齢者への日常的な支援や暮らしのサポートについて

〔保健福祉部次長〕要支援、要介護者に関しては介護サービスを、またハートフルかしばでは、買い物や調理掃除、洗濯などの家事支援を行っており、自治会では、見守り配食サービス、市では、ふれあい収集などを行っている。

〔問〕高齢者の暮らしを支えるため、市民が主体性を持って運営される、生活介護支援サポーター制度の導入について

〔保健福祉部次長〕現在13の地域で地域福祉委員会が設立されており、配食サービスや違う世代との交流サロン、暮らしの勉強会などの地域コミュニティ形成のイベントを行っている。

今後すべての自治会において設立していたできるように各自治会を訪問しているところである。

〔問〕高齢者自身がボランティアに参加することで、ポイントを付与されることにより保険料も軽減される

という、ポイント制の導入について
「保健福祉部次長」 国の動向も見守っていきたいと考えている。

(問) 在宅介護を支える施設として、二十四時間三百六十五日サポートしてくれる施設や、家族をサポートするため要援護者を一時的に預かってくれる施設について

「保健福祉部次長」 小規模多機能施設は、県内で17カ所、本市では1カ所あるが、この施設を利用すると他の施設が利用できないというデメリットもあり、現在の利用は1名にとどまっている。ショートステイ施設は、市内2カ所の特養で24人の枠があるが高い利用状況になっている。

(問) 今、在宅療養支援診療所では、医師、看護師が連携して24時間訪問を行ったり、サポートをしているが、市の往診医の状況について

「保健福祉部次長」 市内で20軒あり、介護認定を受けられている方への往診件数は年八百八十四回である。
(問) 在宅で療養者や要介護者をもとめる場合は、医療と介護の連携が必要だが、その環境づくりについて

「保健福祉部次長」 現在、介護認定を受けて在宅療養されている方に関して、ケアマネを中心に介護事業所やかかりつけ医を交え、生活機能の向上を図るためにケア会議を開催し介護と医療の連携を図っている。

川田 裕 議員

▼高齢者施策の保健事業取組状況

(問) 保健、健康施策の拠点としての保健センター設置だが、具体的な施策策定の進捗状況は。

「保健福祉部長」 保健・福祉・医療の総合的な機能の充実を図り、横断的に予防医学的施策を行政が行う事が福祉事業の重要課題である。

(問) 精神保健事業では、医療と生活の間隙からカウンセリングセンター的施設が必要と考えるが。

「市長」 現在、精神保健等の関係は民間委託であり、行政による専門的取組は不足であったが、来年度は精神保健福祉士と社会福祉士を採用し、人材確保に努めたい。

▼国民健康保険広域化の奈良県の取り組みについて

「保健福祉部長」 市町村国保の広域化、一元化に向け、全市町村参加の作業部会を立ち上げ、これから検討を深めていくという状況である。

(問) 作業部会のメンバーについて
「保健福祉部長」 12市の代表として奈良市、大和郡山市、御所市、町村代表として山添村他4町村、関係団体として奈良県国保連合会、事務局は県の保険指導課である。

(問) 香芝市はなぜ作業部会に入らなかったのか。

「保健福祉部長」 12市が加盟している都市協の中で代表者が決定され、結果として本市は入らなかった。

(問) 法でも広域化支援方針については、市町村の意見を尊重するよう規定されているが、香芝市にはどのような意見の聴取があったのか。

「保健福祉部長」 今後、ワーキンググループを開設し、その中で意見聴取され、十一月に広域化の支援方針を取りまとめ、十二月に厚生労働省に提出する予定である。

▼放課後子ども教室の推進と学童保育の設備改善について

(問) 今後の取り組みについて
「教育部長」 学童保育所と放課後子ども教室の目的や役割から、本市の現状に見合った放課後子どもプランを検討し、事業を進めていく指針づくりに着手している。

(問) 教育と保育の違いについて。
「教育部長」 教育は福祉が保障された中で子供たちの成長と発達を図り、同じ生を受けた子供たちには、教育や福祉（保育）という区別はなく、機会を均等に努め、その育ちを保障する姿勢が大切である。

(問) これは重要施策であり人材確保が重要であるが、財政上の観点は。
「総務部長」 重点戦略事業評価の中で、総合優先度が高いと考える。
(問) 学童保育所のトイレは余りに

も不衛生である、早急に衛生面での設備改修をするべきではないか。
「教育部長」 子供たちは健康的な環境が必要であり、短期的な整備計画を立て、早い段階で改修を行いたい。

▼不公正な勤務評価と不評だが、調査から、どうして40年前の勤務評価表を未だに使用しているのか

(問) 人事評価は、勤務評定表が一番の根拠であるというが、評価方法に矛盾点があるのではないか。

「企画部長」 勤務評定の問題点は、各部署間等での評価に不均衡があり、今後研修等を十分に行い、評価に不均衡が無いように取組む。

(問) 実際に勤務評定評価を実用しているのか。昇格等においても不平等が目立つが、何故か。

「企画部長」 昇格時には、勤務評定を参考にしているが、その他、総合的に判断し昇格を決めている。

(問) 今後詳細調査をするが、不公正な人事が証明できた場合は、この不利益処分は誰が責任をとるのか。
「理事者」 答弁なし。

(問) 公正公平な評価・組織体制にしなければ市民のための組織の底上げは出来ないのではないか。
「市長」 公正公平な人事は重要である。勤務評定を活用しきれていない部分もあるので、早期に見直し公正公平な人事評価に改善する。

中村 良路 議員

▼安心できる公共交通のバリアフリーについて

(問) JR香芝駅のプラットホームへ車いすや乳母車でも容易に通れる通路ができないか。

【都市建設部長】今後、バリアフリー新法に基づき五千人以上の乗降客がある等の条件を満たす、近鉄五位堂駅、二上駅、関屋駅については、身障者対応トイレやエレベーターを設置していく。

現在、香芝市バリアフリー基本構想策定のための連絡協議会を立ち上げたところであり、構想策定後において、JR側に関しては構想の趣旨に沿って対応していきたい。

(問) JR香芝駅の乗降客数と今までの市民等からの要望について

【都市建設部長】一日の乗降客数は平成十九年度データで三千六百六十六名である。平成十五年に近鉄下田駅関連事業で北地区整備プログラムを作成しており、その過程の中で地元からバリアフリー化について求められている意見があった。

(問) バリアフリー化の促進について今までに検討をしたのか。

【都市建設部長】十分認識はしているが、香芝駅の整備は駅単体だけの工事はとどまらない非常にポリユー

ムの大きい事業になり、基本構想の趣旨に沿った対応と、現在取り組んでいる近鉄下田駅や志都美駅の進捗をみた中での取り組みになると考える。

(要望) JR香芝駅を
一帯とした
整備工事と
いう大きな
問題として
ではなく、
障がいを持
たれた方が自由に乗降できるよう
にできないかということであり、少
しの改良や工夫で出来ることもある
と思うので、優先順位をつけて、で
きるものから進めていただきたい。



▲JR香芝駅

▼ゴミの減量化について

(問) 日常に使うレジ袋をなくして、ゴミの減量化を図ることについて

【市民生活部次長】今後もマイバッグキャンペーンを実施し、レジ袋や過剰包装など断るよう、市民意識の高揚を図りながら、事業者にもレジ袋削減に向けた取り組みを働きかけていきたいと考えている。

(問) 香芝市のレジ袋の排出量年200トンにもなる、ごみ減量の認識は

【市民生活部次長】地球温暖化や資源の枯渇問題、焼却、埋め立てによる環境への負荷、ごみの最終処分場の

逼迫などの問題があるためごみの減量が必要であると考えている。

(問) レジ袋の削減について市内のスーパーと協議をしているか。

【市民生活部次長】マイバッグキャンペーン時にも市内のスーパーの方々を話をさせていただいた。今後も市としては、個々の事業所と削減に向けた協議に向け努力したい。

▼ゴミの持ち去りについて

(問) 持ち去りの実態把握の認識と対応について

【市民生活部次長】資源ごみの持ち去りは発生している、市民のごみ減量化や資源化の意識に悪影響を及ぼす。そのために定期的なパトロールの実施や、通報により持ち去り行為を行っている業者に対し注意や指導を実施し、香芝警察署とも連携し持ち去り防止に努めている。

(問) 県内の条例実施状況について

【市民生活部次長】7市3町が廃棄物条例の条項「資源物の所有権」の位置づけを明確化され、うち1市は所有権侵害の罰則規定されている。

(問) 条例の制定について

【市民生活部次長】廃棄物処理条例の中に資源物の所有権の位置づけを明確化したいと考えている。

(要望) 早急な対応が必要とされた回答だが、今後の個別での法整備の対応に期待する。

小西 高吉 議員

▼公共バスについて

(問) 公共バスの停留所やルート見直しの進捗状況について

【市民生活部長】公共バスの運行委託業者と協議を行っているが、現契約では無理との回答を得ている。

今後も、運行状況を再確認し、利用客数の少ないルート等の調整等を考え再度協議を進める考えである。

(問) 今後の公共バスのあり方について

【市民生活部長】今後の新公共交通システムについては、有料化やバス停間の自由乗降等を検討し、サービスの拡充に努めたいと考えている。

(要望) 有料化になるのなら、サービスが向上したと思えるような、不公平のないルート変更、自由乗降、バス停の増加をお願いする。

▼青少年健全育成について

(問) スポーツ少年団の教育委員会での位置づけについて

【教育部長】スポーツ少年団活動は、学習指導要領に定められていないが、教育委員会としては社会体育活動を行う任意の団体としてさまざまな助言や支援を行っている。

(問) 学校側のスポーツ少年団に対する意識について

【教育部長】各小学校とも、さまざま

な配慮を行っており、施設面での協力をしたり、密接な連携を深めていると感じている。

▼安全・安心のまちづくりについて

〔問〕道路の安全確保のための危険箇所の改善について

〔都市整備部長〕日常安全な通行を確保することは市の責務であり、担当課で即時修復するケースと、地元要望に基づき年次的に実施している路面整備とがある。

〔問〕グレーチング設置箇所に対しての安全対応策について

〔都市整備部長〕金属という材質上スリップ等の問題を持っており、滑り止めの加工を施した部分もあるが、今後、危険箇所と把握できる部分についての改修に努めたい。

〔問〕警察の仕事だとは思いますが、何年も要望しているのに信号機つかない現状について

〔市民生活部長〕信号機等の設置要望は、非常に件数が多いため警察署から設置時期等の明確な回答がないのが現状であるが、今後状況報告ができるように、警察署との連携を図って対応していきたい。



▲国道168号線周辺(今泉)

▼安心して産み育てられる環境づくりについて

〔問〕民間による小児科、産科を備えた24時間救急病院の設置について

〔保健福祉部長〕今般の基準病床数の見直しで、基準病床数が既存病床数を54床上回る状況となりその点では一歩前進した状況ではあるが、一般的に小児科、産科の医師不足もあって、救急総合病院の設置となれば、依然として困難な状況に変わりなく、今後も奈良県に対し香芝市の医療体制の充実を図ることへ尽力を賜るよう働きかけていきたい。

〔問〕「香芝市の救急医療を守る委員会」の進捗状況について

〔保健福祉部長〕昨年度は、特に小児の夜間救急体制が課題であることが確認されたが、結論を出すには至らず、本年度も引き続き検討することになった。

〔問〕中和医療圏における小児科や産科等の医師不足が顕著になっている現状での考えについて

〔市長〕現状として中和圏で小児科、産婦人科を含めた救急体制の充実を図ることが重要であり、そういう機能を備えた総合病院立ち上げに名乗りを上げてくれる民間病院があれば、政治生命をかけてでも知事や国に対して働きかけ、誘致に向け取り組みたいと考えている。

芦高 省五 議員

▼国保料の引き下げについて

〔問〕長期にわたり景気が悪く、仕事がなく大変厳しい状況が続いており、国保料を払いたくても払えない世帯が増えてきていることから、もう少し国保料を安くならないか。

〔保健福祉部長〕平成二十一年度国保財政では約一億八千二百万円の実質収支の赤字を見込んでおり、現在の国保の財政を考えれば、保険料を引き下げできる状況ではない。

〔問〕本市の短期保険証の状況はどのようになっていくのか。

〔保健福祉部長〕二十一年度の短期保険証の発行状況は千四十枚、七百八十九世帯であり、収納対策向上の一環として、保険料の未納者に短期保険証を発行するという状況である。

〔要望〕国保料については、一世帯一万円、あるいは一人一万円を引き下げる方向で考えてもらいたい。

▼二上山山ろく登山道の整備や環境について

〔問〕今から約四百年前に香芝や葛城などを支配していた岡周防守（おかしおうのかみ）の居城跡が、二上山の登山口横の大将軍山（だいじょうごやま）にあるが、この頂上付近に展望台などをつくるなど、整備をする必要があるのではないか。

〔都市建設部長〕登山道近くの大將軍山（だいじょうごやま）の岡氏累代の居城跡については、市の遺跡地名表の中にも記載があり、遺跡としての発掘を想定しなければならぬことから、非常にポリユームの大きな事業になると考えており、今後の課題としたい。

〔問〕数億円の工事をしてほし

いと言っているのではなく、登りにくいところに、材木などで簡単な階段をつけたり、頂上の木を切って視界をよくしたり、案内板をつけるだけである。郷土の英雄、岡周防守（おかしおうのかみ）を香芝市民に知ってもらい、より身近に感じてもらいたいと考えている。何もする気がないのではないか。



▲岡周防守（おかしおうのかみ）の居城があった大将軍山（だいじょうごやま）

〔都市建設部長〕登山道の簡単な整備や、案内板などの整備というところであるが、遺跡となれば場所を特定した中で測量から入らなければならず、安易に階段などをつけたり形状変更することは文化財の破壊にもつながると考える。また、登山道整備に伴っては、安全施設、衛生施設、駐車場の整備も必要になる。

さらに、測量にも約二千万円必要

黒松 康至 議員

となり、今後の課題としたい。
(問)文化財の関係で、測量しなければならぬ必要性はあるのか。

【都市建設部長】遺跡地図ではある程度の範囲が示されており、具体的な詳細設計等をつくらないとどの範囲まで影響が及ぶかが出ないことから測量は必要であり、山の中の測量作業になることから費用がかさむと考える。

(要望)測量で二千万円かかるのであれば、総額では億単位となると考えられるが、やはり、もう少し考え方を変えて大將軍山(だいじょうごやま)には簡単な展望台でもいいから整備していただきたい。

▼香芝警察署前東側の交差点に信号機を設置することについて

(問)香芝警察署前東側の交差点に信号機を設置してほしいとの声を聞くが、警察には申請をしているのか。

【市民生活部長】磯壁北今市線と県道下田良福寺線の3差路の信号機の設置については、平成十八年六月に当時の高田警察署と協議をしており、現場自体は比較的交通量も少なく見通しもよいということから、信号機の設置には至っておらず、供用開始から、一旦停止と横断歩道の交通規制がされている。

今後、道路事情等を十分留意しながら、安全性を確保したい。

▼美しいまちづくりへの取り組みについて

(問)どのような啓発活動に取り組んでいるのか。

【市民生活部長】各地域で年2回の市民参加の美化運動を行っており、市内各所には啓発用のごみ投棄禁止看板を設置等している。

(問)啓発でのマナーアップでは限界があり、最終的には罰則の条例が必要ではないのか。

【市民生活部長】本市としては、先地の条例制定による効果や問題点等を検証し、調査研究を進めたい。

▼地上デジタル放送への完全移行にむけて本市の状況について

(問)本市のデジタル化の状況と難視聴地域の支援策について

【企画部次長】本市の地上デジタル放送の受信環境は、高層建築物や地形などにより受信できない一部の場合を除き、市内全域をカバーできる見込みと考えている。市としては、デジタル難視聴地域に個別支援事業の予定はないが、受信環境づくりの支援のため、近畿総合通信局等と連携協力体制をとっていきたい。

(問)地上デジタル放送の周知をどのようにしていくのか。
 【企画部次長】これまで広報お知らせ

版や折り込みチラシ等で周知をしているが、再度、広報や市役所のロビー等で啓発を行いたい。

(要望)旗尾池にあるNHKの中継局のデジタル化に伴い、民放4社のデジタル化も国へ働きかけをお願いしたい。

▼公共下水道の事業認可外地域(畑・穴虫・関屋)における方針について

(問)市街化調整区域や、起伏の多い畑や穴虫や関屋地区は、いつ事業認可するのか。

【上下水道部長】下水道の整備率が約80%を完了した時点で、区域拡大を図ることが県の指導であることから、現在、認可区域の整備率が65・8%の本市では、事業認可区域には入っていない畑、穴虫、関屋の事業認可時期は平成三



▲下水道整備工事

十年度以降となる。

(問)合併処理浄化槽は、家庭から出る汚水の汚れを約10分の1に減らせ、河川等を美しく保ち、長い下水道管を埋設する必要がなく経済的である。そこで、事業認可内における整備手法として、合併処理浄化槽や集中浄化槽での整備はどうか。

【上下水道部長】本市の下水道整備は、全体計画を定めている中で、公共下水道及び集中浄化槽との経済性や費用対効果、維持管理面の検討の結果、公共下水道での整備が効果的、また効率的であるという結論に達していることから、事業認可区域内の公共下水道整備に鋭意努力したい。

(問)国では社会情勢の変化を踏まえ、建設費等の費用対効果を考慮し、下水道予定区域を縮小し、浄化槽への見直しも検討されている。下水道設備がされていない地域において、単独浄化槽から合併処理浄化槽への切りかえの際に、設置費用を助成する考えはあるのか。

【上下水道部長】国や県では下水道事業が及ばない地区に助成制度があるが、本市では公共下水道の整備を推進している過程にあることや建築時に合併浄化槽の設置が義務づけられており、補助対象になるかならないかにより不公平感も生じることになることから、合併浄化槽の設置補助は考えていない。

(要望)下水道認可外地域の整備のおくれこそが不公平感があるのではないかと。下水道事業は大変先の長い事業でもあり一日も早い下水道の整備を望むが、地域の特異性や住民の意向を考慮し適正な整備手法を選択いただようお願いする。

9月定例会は、
9月6日からの予定です。

わかりやすく、信頼される
香芝市議会を目指して…

平成22年9月定例会会期(予定)

月	日(曜日)	会 議 名
9	6(月)	本 会 議
	7(火)	休 会
	8(水)	総務財政委員会
	9(木)	民生文教委員会
	10(金)	建設水道委員会
	11(土)~13(月)	休 会
	14(火)~16(木)	決算特別委員会
	17(金)~20(月)	休 会
	21(火)~22(水)	一 般 質 問
	23(木)~26(日)	休 会
	27(月)	本 会 議

※日程変更の場合があります。

傍聴を希望される方は、市役所5階議会事務局で、傍聴人受付簿に住所、氏名及び年齢を記入していただくだけで傍聴することができます。



◆定員/議場 44人
委員会室(委員長が別に定める)

本会議の状況は、庁舎1階ロビーでもご覧になれます。



香芝市ホームページ

<http://www.city.kashiba.lg.jp/>

議会の開会日、会議録(本会議・委員会)の閲覧や議員の紹介をご覧ください。

議
会
日
誌

平成22年
6月

- 10日 本会議
- 14日 総務財政委員会
- 15日 民生文教委員会
- 16日 建設水道委員会
- 21日 一般質問
- 22日 〃
- 23日 本会議



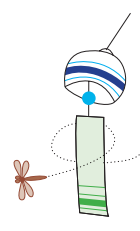
◀市議会議場

7月

- 1日 香芝広陵消防組合議会
- 2日 北方領土返還要求運動
- 6日 奈良県民会議理事会
- 6日 近畿市議会議長会
- 14日 議会改革特別委員会
- 15日 全国市議会議長会理事會
- 20日 近畿市議会議長会
- 22日 第1回理事會
- 22日 県都市計画審議会
- 29日 第16回全国女性消防団員活性化

8月

- 6日 奈良県市議会議長会
- 12日 議会改革特別委員会
- 12日 国保運営協議会



編
集
後
記

お盆もすぎ、朝夕には少し涼しくなり、秋の気配を感じる季節となりました。

さて、七月には全国各地において、梅雨前線による豪雨の影響で甚大な被害がでました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

これから台風到来の時期を迎えることから、大雨や台風の情報には注意をしていただき、危険を感じたら、すぐに避難できるように準備をお願いします。

九月定例会は、平成二十一年度の一般会計を審査する決算特別委員会もございまして、是非、傍聴においでください。

また、ご意見等がありましたら、議会だより編集委員会(議会事務局内)までお寄せください。

〔問合せ先〕TEL76-2001

議会だより編集委員会

- 委員長 河杉博之
- 副委員長 北川重信
- 委員 細井宏純
- 委員 奥山隆俊
- 委員 川田英裕
- 委員 池田道生